

景観に調和する「システム高欄」*1

堀江 純司*2 井上 皇一*3 中村 茂樹*4

System Bridge-Railing to Be Blended in with Surrounding Landscape

Junji Horie Kouichi Inoue Shigeki Nakamura

1 はじめに

都市部から着手された景観整備事業が広がりを見せ、各地で個性豊かな街づくりが展開されている中、景観製品分野でも機能性に加えてデザイン性が重要視される傾向にある。特に、ランドマークとして景観性やシンボル性が求められる橋梁に設置される高欄においては、周囲の景観に配慮したデザイン性が強く要求される。

従来、デザイン性が要求される高欄では、周囲の景観、地域性を考慮し物件単位でのデザインおよび設計を行ってきたが、設計製作納期の短縮が困難であり、価格面でも割高となっていた。

ここでは、転落防止柵としての機能性に加えて様々な環境、景観に調和するデザイン高欄を短納期、低価格で供給することを目的として開発したシステム高欄の概要について紹介する。

2 システム高欄の特長

システム高欄は、Fig. 1 に示すとおり、各部材単位で標準化された支柱、笠木、パネルおよびカバーを組み合わせることによって、高欄全体のデザインを選択できる構造とした。また、塗装材についても石目調、メタリック、エンボス模様、ソリッドの4種類のテクスチャについて、それぞれブラウン系、ダークグレー系、ライト

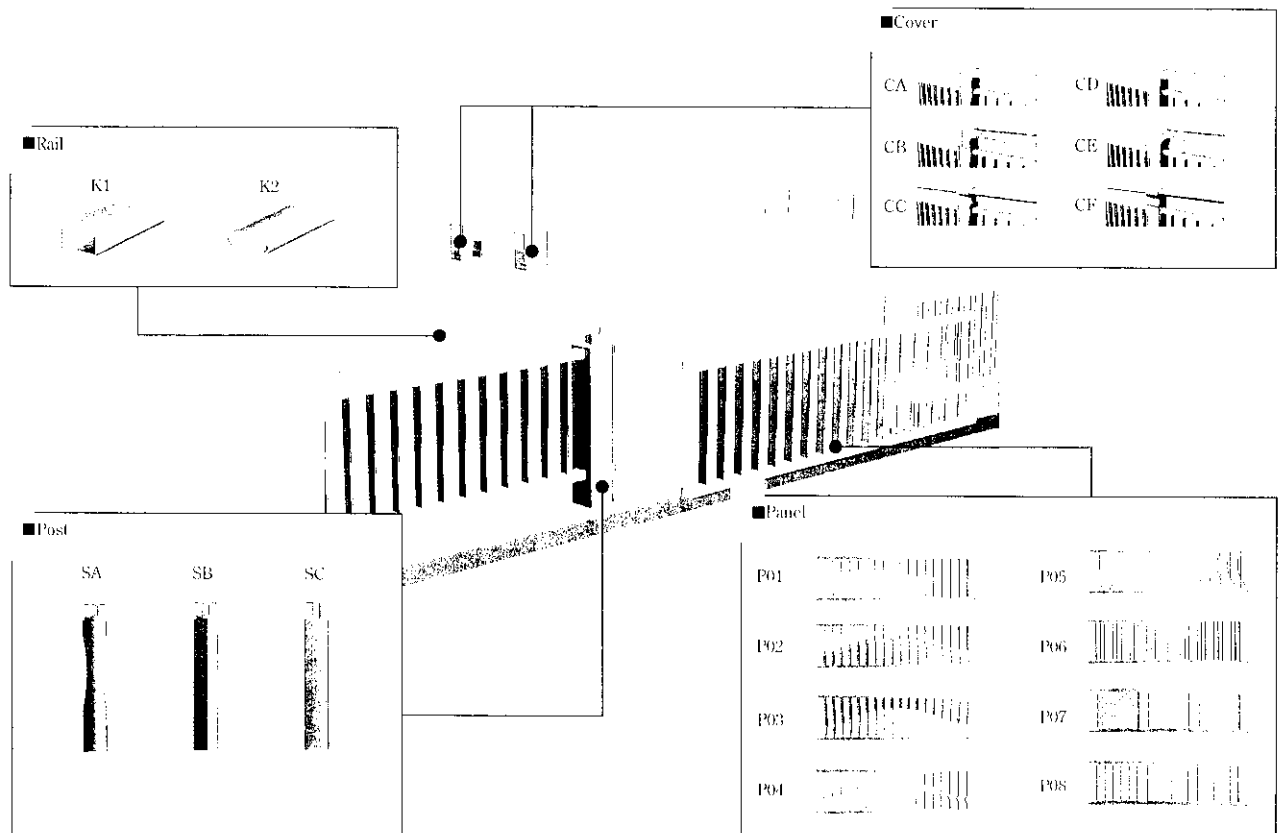


Fig. 1 Structural conception of bridge railing

*1 平成10年5月22日原稿受付

*2 川鉄建材(株) 土木事業部 土木技術部道路製品室 主任部長(掛長)

*3 川鉄建材(株) 土木事業部 土木技術部道路製品室

*4 建材センター 建材事業企画部 主任(部長補)

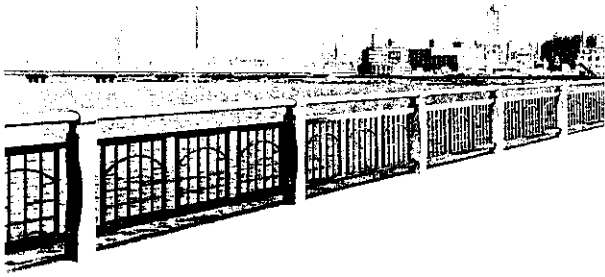


Photo 1 Example of post A installation

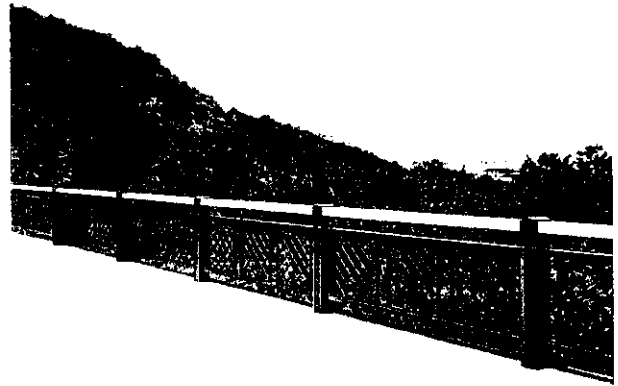


Photo 2 Example of post B installation

グリーン系およびグリーン系のカラーを標準化しており合計17色から選択できる。

以下にシステム高欄の特長を列挙する。

- (1) 豊富なデザインバリエーション
標準部材で120通りの形状に展開が可能である。塗装色を含めると840通りのデザインバリエーションとなることから周辺環境や景観、予算に応じてデザインを選択することができる。
- (2) 短納期、低価格で供給
標準化された部材と塗装材の組み合わせによる製品であるため、設計、製作納期が短縮でき、かつ低価格で供給できる。
- (3) オリジナルデザインへの対応も容易
一部の部材をオリジナルデザインで製作することによって、地域性などの特徴をデザインに入れ込むことも可能である。
- (4) シミュレーションによるデザイン提案が可能
標準化された部材を使用するため、高欄と設置予定場所の写真を合成するフォトモンタージュを短納期で作成することができる。したがって、豊富なデザインバリエーションの中から、最適な1タイプを選択することが可能である。

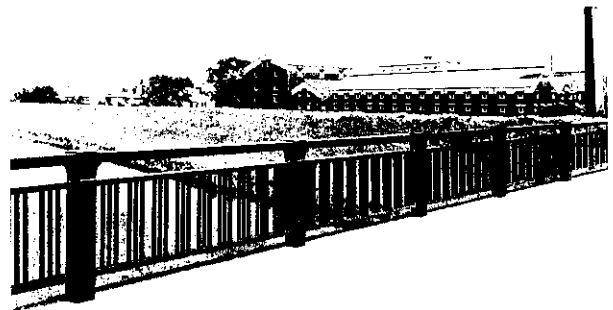


Photo 3 Example of post C installation

3 設置イメージ

3種類の支柱を中心に、周辺環境に配慮したシステム高欄の設置イメージを以下に示す。

- (1) Aタイプ支柱
設置写真を**Photo 1**に示す。緩やかな曲線を基調としたAタイプ支柱にメタリック塗装を施した筭木、パネルを組み合わせることによって、背景の高層ビル群と調和する都会的なイメージをもたせた。
- (2) Bタイプ支柱
設置写真を**Photo 2**に示す。シャープで繊細なBタイプ支柱に直線を基調とした筭木、パネルを組み合わせた。支柱には、山林に合わせたグリーン系の塗装を施すことで背景との調和を図った。

(3) Cタイプ支柱

設置写真を**Photo 3**に示す。ベーシックなCタイプ支柱に特徴的なカバーでアクセントをもたせた。背景にある伝統的な酒蔵に合わせて高欄全体にブラウン系の塗装を施し、日本的なイメージをもたせた。

4 おわりに

システム高欄は、スチール素材を中心に部材の標準化を行ってきた。今後、沿岸地域を中心に要望の多いアルミ製部材の標準化をおこない素材バリエーションの充実を図る予定である。また、親柱、内蔵照明、歩行者用手摺といったオプションパーツの追加にも取り組み、高欄を中心とした橋梁関連商品のトータル供給を目指していく。

<問い合わせ先>

川鉄建材(株) 土木事業部 景観製品部
TEL 03(5626)8683 FAX 03(5626)8690